

BIOMEで調べよう! 生きものみつけ 調査シート



〇〇〇小学校 〇年 〇組

名前 〇〇〇〇 〇〇〇

見つけた場所 その1 高いところ (木の上や空など)

(書き方の例)



①生きもの名前

クスノキ

②発見した時のじょうきょう

いつ?	天気は?	どんなところで? (選んでマルでかこむ)
8月1日 12時ごろ	晴れ	公園・山道・海岸・川・市街地 その他 (神社)

③きょうみを持った点

- ・ 神社に行ったら、大きな木が生えていた。きれいな羽のチョウがそばを飛んでいた。
- ・ 葉や枝を折ってにおいをかぐと、すかっとした香りだった。

見た感じ、触った感じ、においなどキミが感じたことや、BIOMEの図鑑の説明などを書いてね!

④生きもの同士の関係 (おうちの人と調べよう)

- ・ きれいなチョウの名前を調べたら「アオスジアゲハ」だった。
- ・ アオスジアゲハの幼虫はクスノキのにおいが好きで、卵を産みに来ていたみたいだ。
- ・ なんと、他の幼虫は葉のにおいが嫌いで、このにおいはクスノキが多くの虫から食べられることを防ぎ、身を守るためのものだろう。
- ・ 木の下にはたくさんの落ち葉があったが、たしかに虫くい葉っぱは見当たらなかった。

たとえば、幼虫または成虫が「何を食べて」「誰に食べられる」など生きもの同士の関係を調べて書いてね!

⑤人間との関係 (おうちの人と調べよう)

- ・ 日本には温帯地域から渡り、古くからある「史前帰化植物」で、クスノキのにおいを虫が嫌うことを利用して、クスノキから油をしぼり、集めて虫よけ(しょうのう)を作っていた。
- ・ 長崎県には、江戸時代に外国と貿易を行った出島というところがあり、ここでは長い間、しょうのうを日本の特産品として出荷していた。
- ・ クスノキは英語でカンフルという。気つけ薬、元気の出る薬のことをカンフル剤というが、これはクスノキのにおいをかぐとすかっとすることが語源だろう。
- ・ 火事があった際にクスノキは葉っぱだけがぱっと燃えて火が広がらなくなる。そのため神社の周りに植えて、火事の時に境内を避難所として使えるようにしている (ちんじゅの森)。

たとえば、地域固有種・在来種・国内外来種・外来種などの種別や、人間によってどんなえいきょうを受けたか、人間の生活とどんな関わりがあったのか、などを調べて書いてね!



BIOMEで調べよう! 生きものみつけ 調査シート



小学校	年	組
名前		

見つけた場所	その2目の高さ
--------	---------

ここに
生きものの
写真をはる

①生きもの名前

②発見した時のじょうきょう

いつ?	天気は?	どんなところで? (選んでマルでかこむ)
月 日 時ごろ		公園・山道・海岸・川・市街地 その他 ()

③きょうみを持った点

④生きもの同士の関係 (おうちの人と調べよう)

⑤人間との関係 (おうちの人と調べよう)



BIOMEで調べよう! 生きものみつけ 調査シート



小学校	年	組
名前		

見つけた場所 その3 足もと (落ち葉の下、土や水の中など)

ここに
生きものの
写真をはる

①生きものの名前

②発見した時のじょうきょう

いつ?	天気は?	どんなところで? (選んでマルでかこむ)
月 日 時ごろ		公園・山道・海岸・川・市街地 その他 ()

③きょうみを持った点

④生きもの同士の関係 (おうちの人と調べよう)

⑤人間との関係 (おうちの人と調べよう)

